

安全なキャンプのために

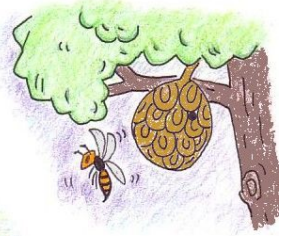
～ 事故事例に学ぶ ～ PART 7



社団法人 日本キャンプ協会

怖い！ハチのひと刺し

近年、春の小雨の影響で全国的にスズメバチが猛威をふるい、その被害は山間部だけでなく都市部でも多発しました。この現状は豊かさを求める人間の生活と無縁ではないように感じています。改めて生物の生態系を考えながら自然に謙虚でありたいと思います。



☆ キャンプ場でスズメバチに刺される

2005年9月17日夕方、市川市内キャンプ場にて30代の男性が火を焚くために木をもらいに林に入ったところ、スズメバチに足と頭を刺された。

- ・**応急手当**・ 同じキャンパーの手で毒を吸い出し、消毒し、急いで病院へ運んだ。
- ・**症状**・ 病院へ行く途中頭、顔面、首のしびれを訴えていた。(刺されてから病院へ着く迄約30分)
- ・**その後**・ 患部を氷で冷やしながら休息し、キャンプを続けることができた。

☆ 未然に防御したスズメバチの攻撃

2005年9月17日夜、市川市内キャンプ場にて、かまどで後片づけをしていた女性は髪の毛で何かガサガサしているのを感じた。先程男性がスズメバチに刺されたこともあったので、そばにいた友人に「何かいる？」と見てもらったところ、正にハチが刺すところをさがしていた。

- ・**処置**・ 女性の頭を見た友人は「ちょっと待って」と言って、タオルでそっとハチを包みビニール袋に入れて水を入れた。大きなスズメバチだった。先程の体験が活かされ、女性は危うく難を逃れた。

☆ ハイキングで男女6人がスズメバチに刺される

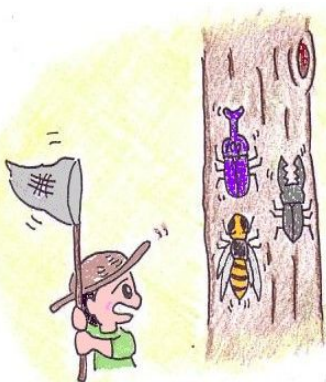
2005年10月京都府にて、26人のハイカーがハイキング中に竹林でスズメバチに襲われ、男女6人が十数か所を刺され病院に運ばれ手当てを受けた。

☆ 公園でスズメバチに刺される

2005年10月長野県の公園に遠足に来ていた小学校2年の児童がスズメバチに襲われ、児童14人と教諭1人が頭や顔、手足などを刺され病院で手当てを受け児童1人が入院。

☆ キャンプ場でファミリーキャンパー スズメバチに襲われる

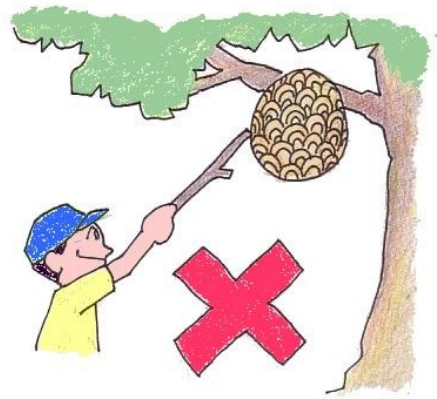
2002年8月、山梨県にある村営のキャンプ場でファミリーキャンパーが昼食の準備中、雨が降り出したため近くの野外ステージに駆け込んだところ、突然ステージの天井部分に巣を作っていたスズメバチの群れに襲われ、子どもを含む5人が手や足、頭など刺され病院で手当てを受けた。



さされないためのポイント

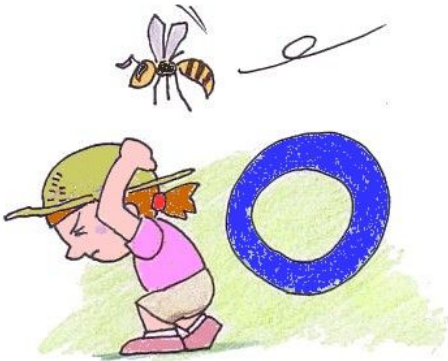
① 巣に刺激を与えない

スズメバチが人を攻撃するのは「巣を刺激された」場合がほとんどです。近づいて、触ったり、木をゆすったり、つついたりしないようにしましょう。



② 攻撃されそうになったら

ハチが威嚇音を発しながら近づいてきたら、目を閉じ、顔を下向き加減にし、姿勢を低くして過ぎるのを待ちましょう。驚いて大声で騒ぐのはハチを刺激するので禁物です。攻撃してきたら手で払ったりせず低い姿勢で急いでその場から離れて下さい。集団でいるところに攻撃することが多いようです。



③ ハチの攻撃を受けやすい服装

ハチは黒いものに向かって攻撃する習性があります。黒っぽい服装は避け白っぽい色の服装にしましょう。そして長袖、長ズボン、帽子を着用しましょう。
※ 香水、整髪料、化粧、ジュース、汗などの匂いにも敏感。
※ 黒い物と同じ反応を示すので注意が必要です。



ハチ刺し事故の多い季節は？



- ・ハチ刺しの多いのは夏ですが、特にスズメバチは発生の多い9月～10月を控えて、7月頃から攻撃的になるといわれています。しかし夏以外の季節でも年中気をつけた方がよいでしょう。
- ・スズメバチはクヌギ、コナラ、ヤナギまた、生け垣に利用されるペニカナメモテ（レッドロビン）、その他ヤブガラシやホソバヒイラギ、ナンテンなどの花の蜜にも集まってきます。
- ・カブトムシやクワガタ捕りの際には飛んでいるハチを刺激しないように注意しましょう。

ハチに刺されたら？

- ・まず安全な場所に移動し、3分以内ならポイズンリムーバーを使って毒を吸い出すといいでしょう。（針のない注射器のようなものでアウトドアショップや薬局でも取り扱っています）
 - ・きれいな水で患部を洗います。この時、刺されたところをもんだりすると毒のまわりが早くなるので注意しましょう。冷水や氷などで患部を冷やすと毒の回りを抑える効果があります
 - ・腫れた患部に抗ヒスタミン軟膏を塗るといいでしょう。（アンモニアが効くというのは迷信です）
- そして病院へ行きましょう。



病院へ

日常で気を付けること

- ・車の中にハチが入ってきたら
明るい側の窓を開けて刺激しないようにハチが外へ出ていくのを待ちましょう。
ハチが迷い込んで慌てているだけで、人を襲うことはありません。たいたりしないようにしましょう。
- ・洗濯ものに注意
洗濯物や布団を取り込む時はよく点検しましょう。
人家や周辺に巣を作るアシナガバチが潜んでいることがあります。
- ・ハチの巣を見つけたら自分で駆除するのは危険です。市役所などに相談し専門家に駆除してもらいましょう。
 - ・スズメバチのエサとなるジュースの空き缶や生ゴミを放置しないことは大切な予防です。



水の事故

海や川でのキャンプを始め魚釣り、磯遊び、泳ぎ、マリンスポーツなど水辺の活動は大変魅力的ですが、風、波、潮の干満、水量、流れなど自然の変化に対応できずに起こる事故が多いのです。

水難事故は他のフィールドに比べて、発生すると致命的な事故に直結する可能性が高いので十分な安全対策をしましょう。



くりかえされるこんな事故

☆ 雨による増水でキャンプ中の18人が流され13人が死亡

1999年8月13日、神奈川県玄倉川でキャンプ中の家族グループ18人が、中州に取り残され、降雨により増水した激流に全員が流され、子どもを含む13人が死亡した。

☆ 鉄砲水に襲われ1人死亡、6人が怪我

沢つたいにハイキングをしていた子ども18人と大人14人が急に鉄砲水に襲われ、5人が流され、1人が死亡、6人が怪我をした。沢の上流で1時間に50mm以上の局地的大雨が降り、これが鉄砲水の原因だった。

☆ 琵琶湖でヨット転覆、12人中7人が死亡

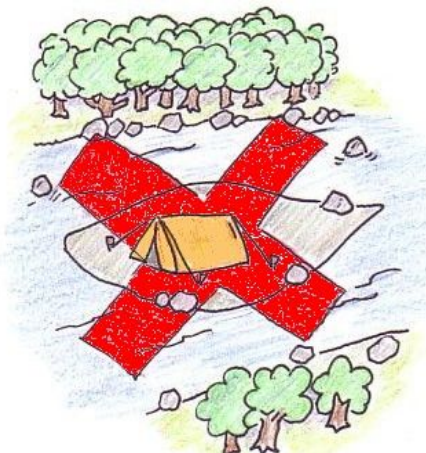
琵琶湖で強風注意報がでていたのに出航した大型ヨットが突風のため、沖合1.2kmで転覆し、復舵した後沈没した。乗っていた12人中7人が死亡し、ライフジャケットを着用していた2人が岸へ泳ぎ着き、3人が救助された。

☆ 家族キャンプで孫と遊泳中に溺れ男性死亡

2005年7月、鹿児島県に家族キャンプに来ていた63歳の男性が、海水浴場で孫と浮き輪につかまって遊泳中に溺れ、岸から約50メートル、水深約1メートルの沖合いで発見され病院に運ばれたが間もなく死亡。死因は水死。海水浴場はこの日、天候不良のため遊泳禁止になっていた。

☆ キャンプ場のため池で中学生水死

2005年6月、長野県の市営キャンプ場に隣接するため池で、中学3年生(14歳)が泳いでいて溺れ、約2時間後に引き揚げられ病院に運ばれたが死亡。中学生は山村留学中で、地元の小中学生との交流キャンプに参加していた。



① 安全な場所を選ぶ、その場の安全を確認

- ・禁止されている区域や危険な場所では活動しないようにしましょう。
- ・人の少ない場所や人の近寄らない場所も危険なことが多いので注意が必要です

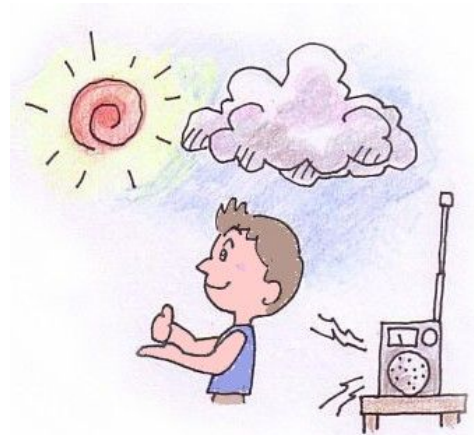


② 川や海など水辺についてよく知る

- ・早瀬、深い淵、流れのぶつかり、滝、中州、ダムなど一つの川は複合的にできていて、海に流れるまでの間さまざまなことが起きていることを知しましょう。
- ・川底と流れ、鉄砲水のメカニズム、水温の変化などについて知っておきましょう。
- ・突然襲ってくる高波には想像以上の威力があることを覚えておきましょう。

③ 天気の変化に注意、無理は禁物

- ・水難事故の原因の多くが悪天候、天気急変によるものです。特に強風、大雨、高波、雷は時に予想もつかないことが起こることを肝に銘じ、天気の変化を敏感にキャッチし、無理な計画行動は止めましょう。
- ・地元の人からの情報や警報に従うことが大切です。



④ 安全な服装と装備

- ・活動に適した安全な着衣、履き物、帽子、サングラス等を用いることで事故予防につながります。
- ・特に船に乗る時は必ずライフジャケットを着用しましょう。(ライフジャケット着用者の生存率84%、不着用者は24%)



⑤ 監視体制・バディシステムで

- ・子どもの活動には必ず大人が常時見守っていきましょう。
- ・水泳時には子どもを2人組にして常にお互いを見守るバディシステムを取り入れて異変を早く察知できるようにしましょう。

落雷

夏はことに雷雲が発生しやすい季節です。雷が落ちやすい場所として山はもちろんですが、公園など身近な所でも例外ではありません。また、海への落雷も突起物がないだけにとても怖いのです。

ひとたび雷雲が発生すれば、どこでも危険にさらされることを想定した上で、活動しましょう。



落雷の発生事故

☆ キャンプ場に落雷、8人病院で手当

2005年、長野県松川町松川高原にある青少年宿泊施設にキャンプに来ていたグループのうち、約30人がキャンプ場の炊事場で小雨を避けている最中、壁のないトタン葺きの木造炊事場の柱に落雷。

木の柱から約50cmにいた中学生1人が一時心肺停止状態となり、その後意識を取り戻したが重症で入院。引率者2人と児童・生徒5人が、耳が聞こえにくくなるなどして病院で手当を受けた。

☆ 登山ツアーで落雷、1人死亡4人負傷

2002年8月登山ガイドが同行した旅行会社企画の登山ツアーで登山中に、稜線で遠雷が聞こえたため高さ3~4mの木の周りに集まり雨合羽を着ている最中、木に落雷。1人が死亡し、4人が負傷した。

☆ 避難した木に落雷、1人死亡5人負傷

2004年7月、福島県の帝釈山にて、雷鳴が聞こえたので切り通し状の窪地になっている岩場に避難したが、避難した岩上の木に落雷。1人死亡し、6人負傷した。

☆ 波打ち際に落雷、1人死亡8人負傷

2005年7月千葉県白子町にて、雷注意報発令により遊泳注意（浅い場所での遊泳可）になった後、どしゃ降りの雨が降り始め、波打ち際に落雷。男女4人が意識を失って倒れた。そばの、雨で濡れた砂浜にいた他の4人も下半身にしびれを感じ、さらに70m離れた波打ち際にいたライフセーバーの上半身にも小さな落雷。1人死亡し、8人が負傷した。

☆ 雨宿りハイカーに落雷、1人死亡10人負傷

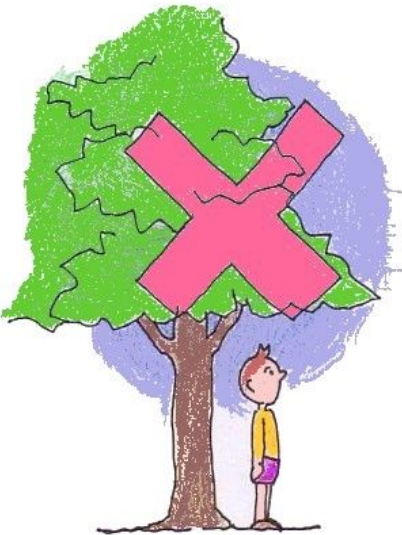
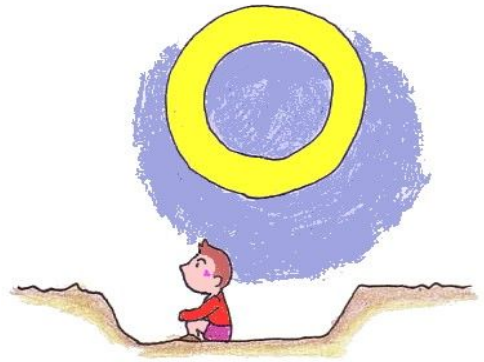
1992年11月、神奈川県の高尾コースをハイキング中、突然ひょう交じりの雷雨があり見晴台にあるあずま屋に落雷、雨宿りしていたハイカー25人のうち1人が死亡10人が負傷。

ハイカーが雨宿りしていたあずま屋は、木造4、7m四方で屋根と柱だけの造りで避雷針はなかった。



① 雷は高い所へ落ちる

- ・窪地や低いところへ移動し、姿勢を低くする。
(木がそばにないところ)
- ・テントポールや傘、ストック等を高く突き出した状態で立ったり移動したりするのは危険です。



② 大きな木の近くは危険です

- ・木の下や雨やどりは大変危険です。(側撃雷を受ける可能性大)
側撃雷 : 樹木やポールに落雷し、近くにいた人に二次放電(側撃)が走る。側撃雷による事故の死亡率は90%(屋外落雷事故の30%が側撃雷)
- ・テントの支柱、屋外のポールからも離れましょう。

③ 避難は早めに!

- ・音の聞こえる雷は遠くないです。
(次の雷が自分に落ちることがある)
 - ・音が聞こえたら早く山小屋や建物、車の中へ避難しましょう。
 - ・大粒の雨は落雷直前を意味します。すぐ頭上に雷雲があるので全力をあげて逃げましょう、姿勢を低くすることが大切です。
- ・頭部や胸から上には絶対に金属類を付けないで下さい。ヘアピン、バッジ、メガネ、時計等ははずしてズボンのポケットに入れましょう。
 - ・雷雲が遠ざかったと思っても用心しましょう。



熱中症

あたる

熱中症(熱に中る)とは、気温が高い環境の中で引き起こされる障害の総称で、熱失神、熱疲労、熱射病、熱けいれんなどに分けられます。

この中でも最も重いのは熱射病で死亡事故にもつながります。突然気温が上昇したり、梅雨明けの蒸し暑い日など身体が暑さに馴れていない条件のキャンプでは特に注意が必要です。



防げなかった事故事例

☆ 登山中、熱射病で倒れ死亡

2000年7月、北海道室蘭市北部の室蘭岳(911m)を登山中の23歳の男性が倒れ意識がなくなり、ヘリコプターで収容され病院に搬送されたが、熱射病による急性心不全で死亡。

☆ 夏山登山、熱中症で死亡

2003年7月、鳥取にある中学校の恒例学校行事の夏山登山で、2年の男子生徒が山道八合目付近で倒れ、熱中症で死亡。

こんな気象状況・こんな人

① 熱中症になりやすい気象

- ・急に気温が上がった場合
- ・梅雨明けをしたばかりの時
- ・気温はそれほどなくても、湿度が高い場合(例: 気温20度、湿度80%)



② 熱中症になりやすい人

- ・体力が弱い人、肥満気味の人
- ・体調不良、睡眠不足、疲労、下痢、二日酔い、貧血の人
- ・暑さになれていない人
- ・風邪などで発熱している人、怪我や故障している人
- ・一度熱中症を罹ったことがある人
- ・性格的に我慢強い、まじめ、引っ込み思案の人
- ・高齢者、高血圧や糖尿病の疾患をもっている人



① **水分補給と塩分補給を（水分だけではダメ）**

汗は、体から熱を出し、体温が上昇しすぎるのを防いでくれます。しかし失われた水分を補わないと脱水状態になり、体温調節能力や運動能力が低下します。のどがかわいていなくてもこまめに水分を補給しましょう。塩分も同時に失われるので、0.2%程度の食塩水が適当です。



② **注意が必要な場合には無理な活動は止めよう！**

- ・熱中症の注意が必要な場合は、長時間の活動を避けましょう。
- ・体調不良、暑さになれていない人、以前に熱中症になった人は特に注意が必要です。



③ **身軽な服装でさわやかに！**

- ・暑い時は軽装にし、吸湿性や通気性のよい素材のもの、日光を反射する白っぽいものを身につけましょう。
- ・防具をつける活動などでは、休憩中に衣服を緩め、できる限り熱を逃がす工夫が必要です。
- ・野外での活動中は帽子を必ず着用しましょう。



暑さで倒れたら、まずは顔の色、皮膚の発汗状態や体温をみて処置しましょう。

日射病・熱射病	熱疲労・熱けいれん
<ul style="list-style-type: none"> ・皮膚は厚く乾燥している ・顔の色が赤い ・汗はかいていない ・体温は高い 	<ul style="list-style-type: none"> ・皮膚は冷たくベトベトしている ・顔の色は蒼白 ・汗をたくさんかいている ・体温は平常
<ul style="list-style-type: none"> ・涼しいところへ移し、衣服をゆるめる ・冷たいタオルか冷水で身体や頭を冷やす 	<ul style="list-style-type: none"> ・涼しいところへ移し衣服をゆるめる ・保温する

山登り・ハイキング中の事故（落下・道迷い）

交通機関の整備等により、便利な日常の延長に山登りやハイキングを楽しむ人が中高年を中心に年々増えてきました。しかしその反面、より手軽に出かけられるようになったことで、自然に対する畏れが薄らいでいるようにも思います。それは遭難事故の発生にも顕著に現れ、その件数は毎年増加しています。

こんなことが！



☆ 登山道崩壊に気づかず中2転落死

1990年8月熊本県にて、少年剣道クラブの小・中学生が父母らとともにキャンプに来て登山していた中学2年の男子が、登山道の崩壊に気づかず約100m下の沢に転落し死亡。

現場付近は、1年ほど前のがけ崩れで雑木林となっていた山肌が崩落して傾斜約70度の急斜面となっており、登山道も一部崩れていた。このためロープを張った迂回路があり、先導した父母らも現場の手前に危険を知らせる枯れ木を集めて通行止めをしていたが、迂回路に曲がらないまま真っ直ぐに進み転落した。一緒に登山していた子どもは「向こうに登山道が見えていたので、道が切れているなんて思わなかった」と話している。

☆ 山中4夜、父娘生還 救助に結びついた携帯電話

2003年5月群馬県にて、日帰りハイキングに出かけ山中で道に迷い行方不明になっていた父娘（父親45歳、娘15歳）が、5日目に長野県内の尾根にいるのを群馬県警のヘリコプターに発見され救助された。

・**非常食**・ 遭難してから父娘は、非常食として持っていたビスケットとチョコレートと3分の2ほど残っていた2リットルボトルのスポーツ飲料を分け合いながら耐え抜いた。

・**装備**・ 装備は日帰りハイキングのため軽装備で、悪天候に備えて長袖のウインドブレーカーを持っていた。雪の残る山中は夜の気温は2〜4度ぐらいに冷え込む。雪渓と岩盤のすき間や木の穴で寒さをしのぐとともに、暖をとるため100円ライターでガイドブックを燃やし、布団代わりにクマザサを敷いていた。

・**会話を絶やさず**・ 父親は娘が怖さからふるえていたため、共通の趣味の話をしたり、しりとりをしたりして会話を絶やさないよう心がけ、「頑張れ」と励まし、「親の自分が動転したら、子どもはもっと不安がる」と考え落ち着くようにしていた。

・**携帯電話**・ 救助に結びついた携帯電話は山の上では使えたが、遭難時には電波が届かず掛けれなかった。電源を持たせるため、山中では切り尾根に上がったときに入れ直したことが奏功した。

・**道に迷った場所**・ 普段は脇にクマザサが生い茂り、コースを外さない場所であったが、残雪で道が隠れていた。





① 無理のない計画を

- ・朝の出発は早めに、午後3時頃には目的地に着くようにしましょう。
- ・体力や能力に合せ、余裕の時間を十分とってコースを決めましょう。

② 万全の体調で

- ・事前のトレーニングや、健康診断を受けるなどして体調を整えましょう。
- ・途中具合が悪くなった場合には、休む、引き返すなど早めの判断をしましょう。

③ 服装、装備は十分に

- ・靴、シャツ、帽子、手袋、防寒着、雨具等は適切な物を選び、手入れもしっかりしておきましょう。
- ・ザック、水筒、地図とコンパス、ホイッスル、懐中電灯、ナイフ、筆記具、救急セット、行動食等、念には念を入れて準備しましょう。



④ 情報収集をこまめにしっかり

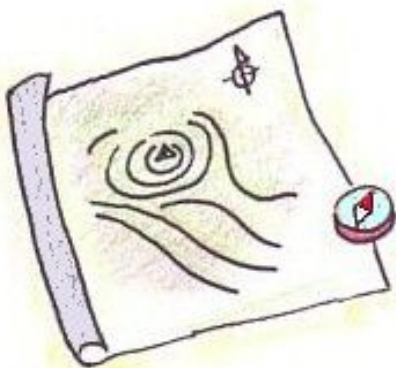
- ・事前に下調べを十分しましょう。(関係各所の連絡先、危険個所のチェックなど)
- ・気象状況をいつも把握し、早めに安全な判断をしましょう。

⑤ スキルの備えを

- ・地図の読み方、コンパスの使い方を覚えましょう。
(自然現象でも方角を知ることができます。)
- ・ロープの結び方、使い方をマスターしましょう。
- ・応急処置をできるようにしておきましょう。

⑥ 最悪の状況を想定して計画、行動しましょう

⑦ この位と思う油断や不注意が命とり、心にスキをつくらないようにしましょう



カセットコンロによる事故

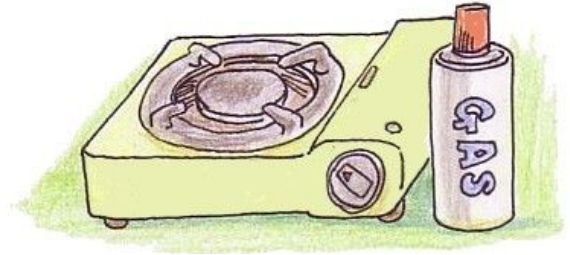
家庭用のカセットコンロを使っているのをキャンプ場でよく見かけます。

家にある道具を持ち込んで気軽に野外へ出かけるのはとてもいいことではありますが、このカセットコンロによる事故も多数起きています。

こんな事故が起きている！

☆ コンロ爆発2人重軽傷のやけどを負う

2001年8月、茨城県にある海水浴場の砂浜で、コンロの上に網を載せて炭に火をつけようとしていたところ、コンロのボンベが爆発し近くにいた男性2人が重軽傷のやけどを負う。



☆ ボンベ爆発9人やけど

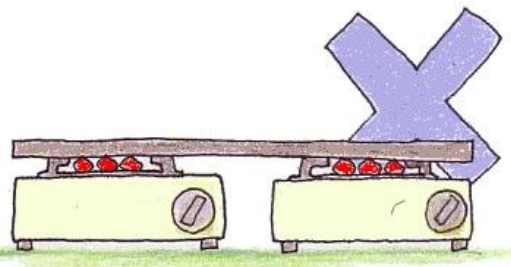
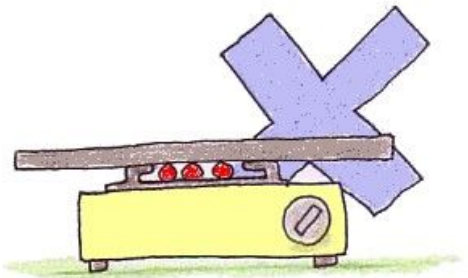
2003年9月千葉県にて、岸壁のコンクリートに家庭用のカセットコンロ2台をじかに置き、縦25cm、横50cmほどの鉄板をそれぞれ載せてバーベキュー中、始めてから1時間後、一方のコンロのボンベが爆発し女性が顔などに重傷を負ったほか、幼児を含む男性5人、女性3人がやけどを負う。

☆ 車の中のボンベが爆発

1994年8月、カセットコンロとボンベを車に積んで、キャンプへ行ったところ、突然車に積んであったボンベが爆発し、車のリアガラスが割れた。

事故を起こさないために

- ① 使用前に、鉄板や鍋がコンロをはみ出ない適切な大きさかよく確認しましょう。
- ② カセットコンロの並列での使用や、炭をのせての使用は、絶対にしないで下さい。大きな火力の必要なときは、他の安全な燃焼機器を使用しましょう。

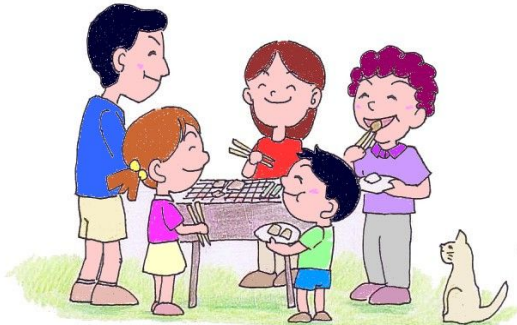


- ③ 使用中のカセットコンロの近くには使っていないものであっても「コンロ」や「ボンベ」は置かないようにしましょう。
- ④ ボンベを保管する際は、温度の高くない場所（40℃以下）を選びましょう。

楽しい食事の場が一転して大事故にならないように火器の取扱いには十分注意し、正しく使用しましょう。

着火剤による事故

キャンプといえばバーベキューを！と楽しむ人達の中には、炭に薪などで火をつけるのは技術と手間がかかるので手軽な着火剤を利用する人も多いと思います。しかし毎年キャンプ中の「ゼリー状着火剤」によるやけど事故が報告されています。事故から学ぶと同時に折角自然の中に行くのですからこの際、技術修得にも挑戦し、手間をかけて日常とは違うスローな時間を楽しむのもおすすめです。



こんな事故が起きている！

☆ 誤使用でやけど

2002年5月、東京都のとある河川敷で5人連れの家族がバーベキュー中、バーベキューの炭火にゲル状の着火剤を入れたところ、大きく燃え上がりそばにいた小学校6年の男児の洋服に燃え移り、腕や足にやけどを負った。

☆ 着火剤が爆発

炭に火をつけ1メートルくらい離れた所に少し残った着火剤のポリ容器を置いた。15分たった時着火剤の容器が爆発して、首と右手にやけどを負った。(20歳・男性)

なぜこのような事故が起きるのか

① 着火剤は引火しやすい

「ゼリー状の着火剤」はメチルアルコール系を主成分としているので、引火点が低く燃えやすい上、揮発性が高いのが特徴です。

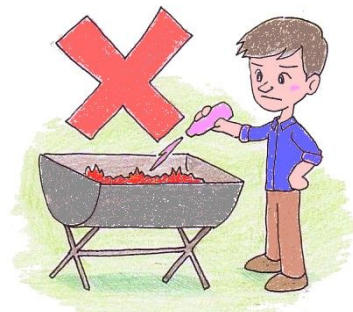
② 炎が見えにくい

着火剤は、炎が見えにくく煙もほとんど発生しません。そのため着火剤に点火したものの、「火が消えてしまった」または「着火剤の量が足りない」の勘違いから、継ぎ足そうとしたところ、手に持っていた着火剤に火が燃え移り事故につながるケースが多いです。

どのように注意すればよいのか

着火剤事故のほとんどが「つぎだしによる引火・爆発事故」です。

- ① 一度火をつけたら、着火剤を継ぎ足したり、火に投げ込まない。
- ② 着火剤のキャップを開けたまま、決して火気の近くには置かない。
- ③ 時間を置くと発揮したガスの量が増えすぎて危険なので、絞り出したら速やかに点火する。
- ④ 換気の悪い場所で使用しないこと。
- ⑤ 火のついた着火剤が皮膚についた場合は、湿らせた布等で上から押さえ火を消す。払い落とそうするとやけどの範囲が広がります。(国民生活センター)



油断大敵！食中毒

キャンプの楽しみの一つは何といっても野外料理でしょう。そのおいしさは格別ですが、“怖い食中毒”が潜んでいることも忘れてはなりません。

食中毒は一年中を通して見られますが、キャンプが集中する7月から9月にかけては、最も起こりやすい時期でもあります。キャンプの楽しい思い出となるはずの食事が一転、苦い思い出にならぬよう正しい知識で食中毒を予防しましょう。



☆ キャンプ教室で食中毒

2005年7月大分県にて、高校生393人と教諭16人が参加した2泊3日のキャンプ教室において、生徒174人と教諭2人が下痢、腹痛、発熱などの食中毒症状を訴え、このうち生徒1人と教諭1人が入院。

県は、飲用水から腸管病原性大腸菌が検出され、発症者からも同じ菌が見つかったことから、会場のキャンプ場の飲用水が原因と断定し、キャンプ場の管理者に給水停止などの改善勧告を行った。飲用水は、湧き水をタンク（10トン）に溜めて使っているが、塩素消毒が不十分だったとみられている。

☆ ファミリーキャンパー食中毒

2004年8月、熊本県のファミリーキャンパー3家族10人が食中毒。腸管病原性大腸菌が検出される。食材はすべて持ち込み、水はキャンプ場の簡易水道を利用。水道は7月の検査では異常は見られていなかった。

☆ キャンプで児童ら66人食中毒

2004年8月、東京都にあるキャンプ場に宿泊した小学生と保護者96人のうち、児童、乳幼児33人と保護者33人の計66人が食中毒。食材は用意したものとキャンプ場の水を使い料理していた。キャンプ場は炊事場に、わき水を引き込んでいたが飲用には不適との表示はなかった。



☆ キャンプで児童22人食中毒

2002年8月、広島県でキャンプに参加した児童47人と保護者ら18人の計65人のうち児童22人が下痢や腹痛の食中毒の症状を起こす。保健所はキャンプの食事が原因による食中毒と断定した。

☆ キャンパー11人がO157に感染

2000年8月大阪府で、青少年団体の夏休みキャンプに参加した子どもと家族ら59人のうち11人から病原性大腸菌O-157とベロ毒素を検出。女兒の団員が発症し入院したのがきっかけで、キャンプに参加した59人を検査した結果わかった。

どうして食中毒に？

飲み水、食品に菌がついているのに気づかず、口に入れてしまうことがほとんどの原因です。

食中毒の90～95%は細菌性食中毒ですが、原因菌としては腸炎ビブリオ菌が半数を占めています。他にはブドウ球菌、サルモネラ菌などが一般的ですが、1996年に病原性大腸菌O-157による患者が年間に、9,451人（うち死者12人）が発症しています。



予防のポイント

食中毒の予防で最も大切なことは、“**いかにして菌が口の中に入るのを防ぐか**”につきます。

① 菌をつけない

最近、調理する人や食材、調理器具、ハエなどに付着して侵入します。

- ・下痢の症状や手指に傷があるときなどは調理しない。
- ・手をよく洗う、食中毒の基本です。
- 調理前、生肉・生魚などをさわったとき、食事前、トイレ後 等
- ・まな板、包丁などの調理器具は、使った後すぐに洗剤で洗い流水で十分にすすぎ、よく乾燥させる。
- ・キャンプ場の水が、沢の水なのか、湧き水なのか、水道水なのか、使用する前に確認する。
- ・水道水を使用できないときは、必ず煮沸させて使うようにしましょう。



基本は、よく手を洗うこと

- ・魚介類、野菜など調理のときは真水でよく洗う。
- ・“おにぎり”が食中毒の原因になることがある。手にケガをしいる人がにぎると菌が“おにぎり”の中で繁殖し食中毒の原因となります。ラップに包んでにぎるのが予防になります。
- ・要冷蔵、要冷凍の食品は、保冷バック、クーラーバック、クーラーボックスなどに入れ、調理の直前まで入れておくようにしましょう。ただし、過信は禁物です。

② 菌を増やさない

細菌は、時間が経つほど増殖します。食材購入から調理、調理から食事までの時間が長くなるほど、食中毒のリスクが高くなるので気をつけましょう。

- ・新鮮な食材は新鮮なうちに調理し、できた料理は時間を置かずすぐに食べるようにしましょう。
- ・料理はつくり置きしないで、一回で食べきるようにする。
- ・食材を日の当たるところや車内など、暑くなる場所には置かない。
- ・肉や魚を扱うときは、まな板や包丁はこまめに洗うか別の器具を使う。

特に、木製のまな板は傷つきやすく、水分も吸収しやすいので菌が増殖しやすいので注意が必要です。

③ 菌をやっつける

- ・ほとんどの菌が熱に弱いので、しっかり加熱すれば死んでしまいます。
- ・肉類（牛肉、豚肉、鶏肉など）は中心部までよく加熱する。卵は、半熟でなく完全に加熱する。
- ・大量に調理する場合には、熱の伝わりが悪いので生焼け生煮えに注意が必要です。
- ・味噌汁やスープなど温め直すときも十分に加熱する。
- ・野菜も温野菜にして食べることが望ましい。
- ・使用後の調理器具などは、洗剤で洗い熱湯をかけ乾燥させる。



もしも「食中毒かな？」と思ったら

お腹が痛かったり、吐き気、下痢などの症状があるときには、食中毒を疑ってみる必要があります。このようなときは、すぐに医者に行きましょう。素人判断は禁物です。

詳しくは、下記に問い合わせてください。

・ハチ情報・

アナフィラキシー・・・ハチ毒や食物、薬物等が原因で起こる重症アレルギー反応
エピペン・・・エピネフリン自己注射製剤

<http://www.anaphylaxis.jp/forum/anaphylaxis.html>

<http://www.nhk.or.jp/gokinjo/backnumber/050929.html>

<http://www.2u.biglobe.ne.jp/~vespa10.htm>

・緊急時の連絡・通報・

緊急事態発生時の連絡方法(どこへ、どうやって、どのように)を事前に確認しておきましょう。

もし事故が起きたら 118番（海上保安庁）海上の事故、事件
 119番（救急、消防）ケガ、急病
 110番（警察）事故事件

安全なキャンプのためにPART7 ～事故事例に学ぶ～

2006年7月24日発行

編 集 社団法人 日本キャンプ協会 安全管理委員会
高見 彰 富中 彬 大橋光雄 佐藤初雄 長井せつ子
中村正雄 野間口英敏 吉田大郎 吉野宏美

イラスト 清水ひでじ

発 行 者 酒井哲雄

発 行 所 社団法人 日本キャンプ協会
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町 3-1 国立青少年総合センター内
TEL 03-469-0217 FAX 03-3469-0504
E-mail ncaj@camping.or.jp <http://www.camping.or.jp>

印 刷 有限会社 サンエイプレス



NCAJ

National Camping Association of Japan

Copyright(社)日本キャンプ協会 無断転載を禁ず